

21 世紀の生命を育む

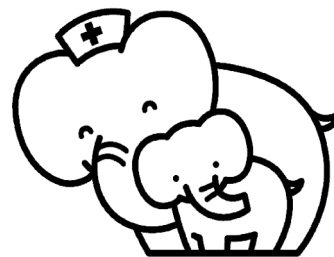
# はしもと小児科

〒954-0112 見附市上新田町 449-7

TEL 0258-61-2400, 予約専用 61-2401, FAX 61-2402

<http://www.mynet.ne.jp/hasimoto/>

院長 橋本尚士：新潟大学医学博士，日本小児科学会認定小児科専門医，日本アレルギー学会認定アレルギー専門医  
日本小児感染症学会推薦インфекションコントロールドクター（感染制御医：ICD）



## ぞうさん通信 2010.7.13

はしもと小児科ホームページ <http://www.mynet.ne.jp/hasimoto/>

メールマガジン「ぞうさん通信」発刊中。上記 HP よりお申し込みください。

### 手足口病流行中

2010年6-7月，当院周辺では手足口病が流行しています。

手足口病は，乳幼児の間で流行する夏かぜの一種です。コクサッキーウイルスA群16型およびその変異型，エンテロウイルス71型により起こります。ほかの季節に流行することもあります。手のひら，足のうら，口の中に小さな水ぶくれができる病気です。お尻や膝にできることもあります。熱はないか，あっても微熱程度で済みます。手足の水ぶくれは通常痛くありませんが，口の中にできると痛くて食べられなくなることがあります。手足口病の原因ウイルスは数種類あるので，何度でもかかることがあります。

手足口病は，自然に治るので，特別な治療は不要です。保育所や学校には，たとえ発疹があっても，本人さえ元気なら，行ってかまいません。発疹が消失して症状が軽快しても，数週間は便にウイルスが排泄し続けますので，症状のある期間だけの登園，登校禁止は全く意味がありません。日本小児科学会からこの旨の勧告が出されています。

1998年から2000年にかけて，マレーシア，台湾，大阪で，脳幹脳炎および肺水腫を合併する特殊な手足口病の流行があり，死亡例がありました。原因ウイルスはエンテロウイルス71型で，神経親和性の高い株でした（すべてのエンテロウイルス71型がこのような症状を起こす訳ではありません）。マレーシア，台湾では多数の死亡があり，数週間にわたって保育園やプールが完全に閉鎖されました。万が一，このような特殊な手足口病が発生した場合には，同様の処置が必要です。中途半端に登園，登校禁止をしても意味がありません。

日本で今夏流行している手足口病の原因ウイルスは，エンテロウイルス71型です。既に，衛生研究所等で分離されています（<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/hfmd2010.html>）

手足口病は通常は発熱がなく，手，足，口，尻，膝などに小水疱が出現し，重症感はありません。しかし，今夏の手足口病は，まず熱が出て，1-2日後に小水疱が出現します。小水疱の出現部位は，手，足，口，尻，膝に限らず，肩，太もも，体幹に及ぶことがあります。小水疱出現後，手や足の皮が剥ける場合もあり，例年よりやや重症感が強いようです。現時点では，10数年前にマレーシアや台湾で流行したような強い神経症状を起こすようなものではありませんが，今後の動向には注意が必要です。

ぞうさん通信2010.7.13, 見附市上新田町449-7 はしもと小児科, 院長 橋本尚士  
新潟大学医学博士, 日本小児科学会認定小児科専門医. 日本アレルギー学会認定アレルギー専門医  
日本小児感染症学会推薦インфекションコントロールドクター (感染制御医:ICD)